

## 令和元年度 第1回 四街道市史編さん委員会会議録

日 時 令和元年 5月21日(火) 午前10時00分～午前11時30分

場 所 四街道市役所 新館3階 公室

出席委員 岡部勝司 委員長 須藤元夫 副委員長  
伊藤勇司 委員 林良紀 委員 小山美知子委員  
小池米子 委員 榎澤和夫委員

事務局 中村政弘 市史編さん主任 荻野武夫 教育部長  
真田裕之 課長(市史編さん室長)  
菅野敏明 主査 三宅慶 主事

傍聴人 3人

### —— 会議次第 ——

1. 開 会

2. 委 嘱 状 交 付

3. 市 長 挨 拶

4. 委員長、副委員長選出

5. 議 題

議題1 平成30年度事業報告について

議題2 令和元年度事業予定について

6. その他

7. 閉 会

## 1. 開会

真田課長：本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、これより令和元年度 第1回四街道市史編さん委員会を開会いたします。

まずはじめに、4月1日付けの人事異動で職員の異動がございましたので、事務職員のご紹介をさせていただきます。《職員紹介》

## 2. 委嘱状交付

真田課長：続きまして、「四街道市史編さん委員会条例」第3条第2項にもとづき、市長より市史編さん委員会委員の委嘱を行います。《委嘱状交付》

## 3. 市長挨拶

真田課長：続きまして佐渡市長より、ご挨拶いただきます。

佐渡市長：《佐渡市長挨拶》

## 4. 委員長、副委員長選出

真田課長：ありがとうございます。続きまして、会議次第4委員長、副委員長の選出に進めさせていただきます。なお、会議の進行は、四街道市史編さん委員会条例第5条第1項の規定により委員長が議長となりますことから、委員長が決まりますまで佐渡市長に座長を務めていただきたいと思えます。佐渡市長、会議の進行をお願いいたします。

佐渡市長：それでは、会議の進行をつとめさせていただきます。四街道市史編さん委員会条例第4条第2項の規定によりまして、委員長は委員の互選により選出することとなっておりますので、まず委員長の選出について、ご意見等はございますか。

伊藤委員：委員長には岡部委員を推薦したいと思います。

佐渡市長：ただ今、岡部委員との声がございましたが、いかがでしょうか。

【委員：異議なし】

佐渡市長：それでは、岡部委員に委員長をお願いすることとし、これをもちまして座長の任を降りさせていただきます。

真田課長：ありがとうございます。それでは、岡部委員長によりまして引き続き会議の進行をお願いいたします。

岡部委員長：《岡部委員長挨拶》

それでは引き続きまして、副委員長の選出でございますが、四街道市史編さん委員会条例第4条第2項の規定によりまして、副委員長も委員の互選により選出することとなっております。ご意見等はございますか。

林 委 員：副委員長には須藤委員を推薦したいと思います。

岡 部 委 員 長：ただ今、須藤委員との声がございましたが、いかがでしょうか。

【委員：異議なし】

須藤副委員長：《須藤副委員長挨拶》

真 田 課 長：それでは、市長は公務多忙のため、以上で退席させていただきます。

《市長退席》

岡 部 委 員 長：それでは会議を進めさせていただきたいと思いますが、まず事務局から説明をお願いします。

真 田 課 長：はい、本日の出席委員は7名でございます。従いまして、四街道市史編さん委員会条例第5条第2項の規定に基づき、過半数に達しておりますので、本会議が成立いたしますことをご報告いたします。続きまして、会議次第5の議題に入らせていただきます。はじめに、資料のご確認をお願いいたします。《資料確認》  
それでは、岡部委員長会議の進行をお願いいたします。

岡 部 委 員 長：それでは、議題の進行をつとめさせていただきます。審議に先立ちまして、本会議の公開・非公開の決定についてお諮りします。事務局からの説明をお願いします。

菅 野 主 査：市では、審議会等の透明性や公平性を確保するため、会議の公開制度を設けております。「四街道市審議会等の会議の公開に関する指針」では、審議会などは原則公開としており、四街道市情報公開条例第8条における非公開情報を審議する際には、非公開と決定することも可能でありますことを、申し添えます。

岡 部 委 員 長：それでは、四街道市史編さん委員会の開催ですが、本日は非公開情報にする議題がないため、公開として委員の皆さまよろしいでしょうか。

【委員：異議なし】

岡 部 委 員 長：次に、本会議の会議録の取扱いについてお諮りします。1点目ですが、会議録に発言者氏名を記載する可否についてお諮りします。事務局からの説明をお願いします。

菅 野 主 査：会議録の公開につきましては、「審議会の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、発言者の氏名を明記することと示されています。

岡 部 委 員 長：会議録の公開及び発言者氏名の明記についても、委員の皆様よろしいですか。

【委員：異議なし】

岡部委員長：2点目ですが会議録署名人について、事務局からお願いします。

菅野主査：会議録署名人につきましては、委員の皆様の中から2名を選出させていただきたいと考えております。

岡部委員長：会議録署名人について、委員の方から2名選出するということで、委員の皆様よろしいでしょうか。

【委員：異議なし】

岡部委員長：それでは、署名人についてですが、委員の中から2名を選出いたします。事務局から何か案はありますか。

菅野主査：事務局案としましては、名簿順に沿ってお願いしておりますので、前回の福田委員に続き、本委員会につきましては、伊藤委員と小池委員にお願いしたいと思います。

岡部委員長：事務局から伊藤委員と小池委員にとお話しがありました。委員の皆様いかがでしょうか。

【全員異議なし】

岡部委員長：会議録署名人を、伊藤委員と小池委員にお願いいたします。それでは、次に進めさせていただきます。本日、傍聴人はいらっしゃいますか。

三宅主事：3名です。《傍聴人案内》

岡部委員長：傍聴人の入室を許可します。傍聴される方は、事務局から渡された傍聴要領を遵守の上、傍聴されますようお願いいたします。

## 5. 議題

岡部委員長：それでは、次に進みます。会議次第5議題1「平成30年度事業報告について」事務局より説明願います。

菅野主査：はい。それでは、会議次第5議題1の「平成30年度事業報告について」をご説明させていただきます。《平成30年度事業報告について説明》

中村主任：《市史研究誌第13号について説明》

岡部委員長：ただ今の事務局の事業報告について、委員の皆様、ご意見・ご質問等ございますか。それでは、議題1につきましてご承認いただけましたら、挙手をお願いいたします。

【委員全員挙手】

それでは引き続き会議次第5議題2の「令和元年度事業予定について」事務局より説明をお願いします。

菅野主査：では、引き続きまして会議次第5議題2「令和元年度事業予定について」をご説明させていただきます。《令和元年度事業予定について説明》

中村主任：《近現代編資料集3について説明》

岡部委員長：ただ今の議題2についてなにかございますか。私の方から、大日地区の資料は協力していただけるのでしょうか。

中村主任：今のところ一部については厳しい状況です。

岡部委員長：他にどなたかございませんか。

伊藤委員：栗原東洋文庫の目録についてはどうなっているのでしょうか。

中村主任：今一部はできましたが、追加資料については細々と継続しているところです。

須藤委員：目録にされるのですか。それは公開を予定しているものなのか、内部的なものになるのでしょうか。

中村主任：仮の目録なので、公開は予定しておりません。

須藤委員：(市史編さん室の) 人員が厳しくなったようですが、今年度の予定についてももう少し詳しく教えてくださいいただけますか。

菅野主査：ご指摘のとおり、人員が厳しくなっており、今後とも各事業は継続していくということでご理解いただきたいと思います。

岡部委員長：特別なければ、次に進みたいと思います。その他に進みたいと思いますが、議題2につきましてご承認いただけましたら挙手をお願いいたします。

#### 【委員全員挙手】

## 6. その他

岡部委員長：その他について何かございませんか。

菅野主査：事務局からは特にございません。

岡部委員長：榎澤委員は今回初めての参加ですので、何かございませんか。

榎澤委員：事業の優先順位についてお伺いしたいと思います。

中村主任：刊行物が優先となります。（近現代編）資料集3が最優先となり、次が40周年の写真集。他の資料調査などは難しい状況です。

小池委員：目録については、内容の紹介をすればいろいろ役立てると思うのですが。

中村主任：（近現代編）資料集3では、いろいろな家からの資料を載せる予定です。

岡部委員長：「市史編さんだより」は年何回出るのですか。

中村主任：去年は2回出していますが、人員の関係で今年度は難しいところです。

岡部委員長：予算的にはどうなんですか。

真田課長：予算の要望はしておりますが、要望してもつくかどうか確約はできません。要望はしてまいります。

岡部委員長：写真集はどこまで進んでいますか。

中村主任：市民から公募の協力がないと難しいです。昭和20年代くらいまでは、カメラを持っている人が少なく、市民がカメラを持つようになってからのものが主になると思いますが、まだあまり集まっています。

須藤副委員長：今年度（近現代編）資料集3の予算は確保されているのですか。

真田課長：今現在は確保されておりません。原稿の形が整った段階で補正予算要望を出す予定です。

須藤副委員長：写真集の場合も予算措置がなければ、写真を集めても出せないで大変だと思います。

岡部委員長：写真集は40周年で出すのではないんですね。

中村主任：いえ、30周年（記念誌）を出しましたので、40周年にもということです。

岡部委員長：出す以上はいいものを出してほしいですね。予算の見込みについてはどうですか。

真田課長：これは申し訳ないですが、必ずつきますとお約束はできません。

伊藤委員：市民からこれだけ集めたので、というのでないとなかなか説得性はないと思います。

岡部委員長：ひとこと感想でも意見でも結構ですから、小山委員いかがですか。

小山委員：市史編さん協力員制度は、今後どのような形で進めていくのかお伺いしたいのですが。

真田課長：私も4月に来たばかりなんですけれども、以前協力員制度がうまく機能していないと、体制が整うまでは凍結するというので、引き継ぎを受けております。

小山委員：(凍結の) 期間はどのくらいなのでしょう。

真田課長：明言はできません。

岡部委員長：なにがどうなっているのか、よくわからないのですが。

真田課長：私が把握している大枠のことでは、歯車がよく回らなくなっているのかな、という印象です。

岡部委員長：今は活動停止ですか。

真田課長：そうです。

岡部委員長：最初はどうだったのですか。

伊藤委員：最初は市史編さん委員だけでは大変だったので、協力員を設置しました。協力員がいないと仕事は進みません。ご理解いただけるようにした方が良いのではと、私は思います。

岡部委員長：協力員さんは、伊藤さんがいらした頃からあったのですか。

伊藤委員：そうです。

須藤副委員長：細かい部分については承知していませんが、一般論としては市民の方で協力できる方がいるのであれば協力してもらった方がいいのでは。

小池委員：私は協力員さんといっしょに仕事をさせていただいたのですが、以前は古文書の整理を相川先生が一人でなさっていたのですが、先生が亡くなってから、試行錯誤をしながら多くの古文書を整理するために、編さん室だけでは無理なので協力員さんを募ったという経緯でした。資料の喪失がないように、市と協力員さんがよく話し合った方がよいのではという感想です。

真田課長：資料は集めるだけではだめで、調査研究も必要ですが、(社会教育課としては) 生涯学習や文化祭を優先しながら対応しなければなりません。協力員については、凍結するまでにはそこまでのいきさつがあったと思います。当然、何度も話し合いをしてまとまらなかったのも、凍結したと私は理解しています。ですからすぐに再開は難しいと考えます。体制を一から見直してと考えています。

岡部委員長：まだよくわかりませんが、ぜひ努力していただけたらと思います。

伊藤委員：(真田課長は) 4月からいらしたので、新しい目で考えてください。

真田課長：再開の時期については、体制を整えてからと考えていますので、明言はできません。

岡部委員長：林委員、なにかありませんか。

林委員：私は協力員は、古文書の読解で協力をえていたという程度しかわからないんですが。

小山委員：先ほど伊藤委員がいったように、新しい目で協力員とお話ししてみる考えはないでしょうか。

真田課長：凍結といわれた時に、新たなものをつくらないと再開はできないかな、という考えを持ちました。

荻野部長：いろいろご意見をいただきまして、ありがとうございます。確かにこの事業自体を凍結するということは、必ずしもいいことではありませんので、早い時期での再開を考えなければと。委員さんからいろいろご意見をいただきましたので、もちかえって内部で検討してできるだけ早い時期での再開を検討してまいりたいと考えております。

岡部委員長：この話だけというわけにもまいりませんので、今こういうお話もできましたので、できるだけいい方向に向けていっていただければと思います。他になにかありませんか。

伊藤委員：私の中の協力員は、専門的ではなく資料を集めてくるといったことが主で、今の協力員さんとは違いがあるということをおきします。

岡部委員長：小池さんなにかありませんか。

小池委員：今ちょうど近現代(の資料)が出てきて、私は新たな四街道を知った思いでありがたいと思います。

岡部委員長：林委員はなにかありませんか。

林委員：私が社会教育課長の頃に中台市長がいて、市長部局から教育委員会にもってきたのですが、その時点では協力員はいなかったと思います。そのあと執筆委員をやるようになってから、時々顔を合わせた程度です。いざこざがあるのはよくないので、解決してほしいと思います。

岡部委員長：榎澤委員はどうですか。

榎澤委員：私は協力員をやっているとして、30周年記念誌が出たときに執筆をしまして、それとあわせて協力員をたのまれたのですが、30周年記念誌は教育効果のある良い本だと思います。協力員の協力があったことですが、市と協力員のやり方がかみ合わないとうまくいかないと思いますので、うまく協力していつてもらいたいと思います。

岡部委員長：小山さんはなにか。



小 山 委 員：今回、近現代の資料を発行するにあたって、四街道市民の方でも知らない方が多いと思いますので、その意味でも期待できる資料だと思います。

須藤副委員長：手元にいただきました、目録、13号ともとても良い資料だと思います。各年度で成果物が出され続けるのが大切なので、途切れないようによろしくお願いします。

岡 部 委 員 長：本日の議題について終了したいと思います。それでは、皆様よりいただいた貴重なご意見をもとに、事務局でさらに検討を加えて進めてください。進行を事務局に返させていただきます。

真 田 課 長：はい。それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回四街道市史編さん委員会を閉会します。委員の皆様、本日はありがとうございました。

会議録署名人 伊藤 勇司

会議録署名人 小池 米子